

大正五年四月六日第三種郵便物認可
昭和二十二年十二月一日印刷納本（毎月一回一日發行）

哲學研究

第三十一卷 第八冊

第三百六十五號

昭和二十二年十二月十日發行

福音の論理（承前）……………文學士 松村克己

美的感情についての一考察……………文學士 金田民夫
——カントの趣味論に關聯して——

人間の條件反射について……………文學士 古武彌正

京都市大學文學部
京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年百八十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	園原太郎
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

教育研究會例會

九月二十七日(土) 午後二時

第三演習室

實驗學校の在り方

下程勇吉氏

倫理學讀書會

十月三日(金) 午後三時

第一演習室

Kant, Grundlegung zur Metaphysik der Sitten.

大學院特別研究生 文學部研究會

十月十一日(土) 午後一時

第七教室

天台の貸相論(哲)

藤吉慈海氏

清朝史の一考察(史)

北村敬直氏

シェイクスピアの悲劇に
おける笑ひについて(文)

菅 泰男氏

前 號 目 次

福音の論理……………文學士 松村克己

スピノザにおける「自己」の問題……………文學士 竹内良知

リボリに於ける創造的想像力の分拆……………文學士 西村嘉彦

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房
内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介ノ新刊書・寄贈雜誌
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學 京都哲學會
文學部内

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券五十
錢御送付下され度候

昭和二十二年十二月一日印刷納本
昭和二十二年十二月十日發行

編輯人 京都哲學會

京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行兼 八 坂 淺 太 郎
印刷人 東京都千代田神田駿河臺四ノ四

印刷所(京都七) 弘 文 堂 印 刷 部
京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社
東京都千代田神田淡路町二ノ九

發行所 弘 文 堂 書 房
東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數		郵 稅	
一冊	十五圓	一冊	十五圓	金五十錢	
六冊(前金)	九十圓	六冊(前金)	九十圓	金三圓	
三冊(前金)	百八十圓	三冊(前金)	百八十圓	金六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は
半年又は一年毎に精算いたします)